

Logo

夢の楽園でまちは ヒート愛ランド現象!?

はじめに

1 まちについて思うこと

- 地域住民と同じまちに住んでいるのに、まちに対する気持ちがばらばらで一体感を感じることができず、まちとしての機能を十分に発揮できていないのでは？
- 住民が自分が住んでいるまちのまちづくりに対して他人任せであったり、多様な立場の市民が意見を交換する場が少なかったり、あるいはそういう場が有効活用されていなかったりというのが原因の一つなのでは？

これらを解決するために、小学校と公園を利用して地域住民の力でまちを一体化し、愛があふれるまちづくりをしたいと考えた。

はじめに

2 学校と公園の現状

<学校>

- 外で遊ばなくなり、自然と触れ合う機会が減っており、子供が閉鎖的になっている。
- 人とコミュニケーションをとる機会が減っている。

<公園>

- 利用者が減っており、整備が完全には行き届いてない。
- 地域住民のコミュニケーションが少ない。

はじめに

3 コンセプト

- まちづくりで一番大切なのは地域住民のニーズを取り入れることが大切である。まち全体で団結して連動することで、一体となりより住みやすい愛のあるまちになる。そこで、まちを一体化させるために、地域住民が中心になってまちを活性化させ、温かい愛があふれるまちへ。つまり、**まちのヒート愛ランド現象**へ。
- この都市計画の発起点になるのが、小学校と公園を有効活用した、地域住民のアイデアから生まれる夢の楽園である。

はじめに

4 夢の楽園とは？

ズバリ！！

- 小学校の校庭を公共の場にし、公園化する！
- 地域住民のアイデアでつくられる楽園！

その名も、**小学校園**！

小学校園とは？

1 イメージ①



小学校園とは？

2 イメージ②

- リュクサンブール公園：パリ



※写真の建物は教会だが、この建物が小学校であるとイメージしたものが小学校園のイメージである。

小学校園とは？

3 具体的にどういう設備ができるか？

- 公園には近くの河川から川をひいて、川の生き物や鳥たちが集まるように自然を取り込む。また、植物や草木や緑が豊かな公園にする。遊具や散歩コースなどを設置する。
- 地域住民の意見を取り入れるための意見箱や、まちの情報掲示板、小学校の掲示板や小学生の勉強の成果を展示するスペースなどを作る。
- 小学校の校庭は公園であり、公園は公共の場である。しかし、子供たちの安全のために公共の場としての開放時間は朝と夕方と休日というような工夫などをする。

小学校園とは？

4 目的

- 公園と小学校の相乗効果による一つの大きな**未来型の教育施設**として考え、まちの活性化を図る。
- どういう設備にするかは地域住民の意見を取り入れて、そのまちらしさをだせるようにすることで地域住民がまちづくりに積極的になる。好循環を生む。
- 地域住民の積極性で小学校園の中に小さなまちを作り、そこからまち全体に広げて一体化を図る。

小学校園のメリット

1 小学校園にすることでの学校側と公園側のメリット

<学校側>…教育、出会いetc

<公園側>…憩い、遊びetc

公園がコラボすることで…

1. 生き物や鳥や植物や緑と身近に触れ合えることで、健全な子供たちが育つ。
2. 学校に行くことが楽しくなり学校に行かない小学生が減る。また、世代を超えて小学生がコミュニケーションをとることで、閉鎖的な子供が減りいじめの問題の解決にもつながる。
3. 緑が大気汚染やヒートアイランド現象を緩和してくれるため、よりよい学習環境が整う。

小学校がコラボすることで…

1. 公園に小学生やその家族を中心に地域住民が集まるようになり、地域住民のコミュニケーションが増え、会話を楽しむことができる。また、情報交換もできる。
2. 小学校があるおかげで、遊具が充実するのでたくさん遊ぶことができる。
3. 小学校があるおかげで、公園の緑や生き物や鳥や植物が充実するので心が休まる憩いの場になる。

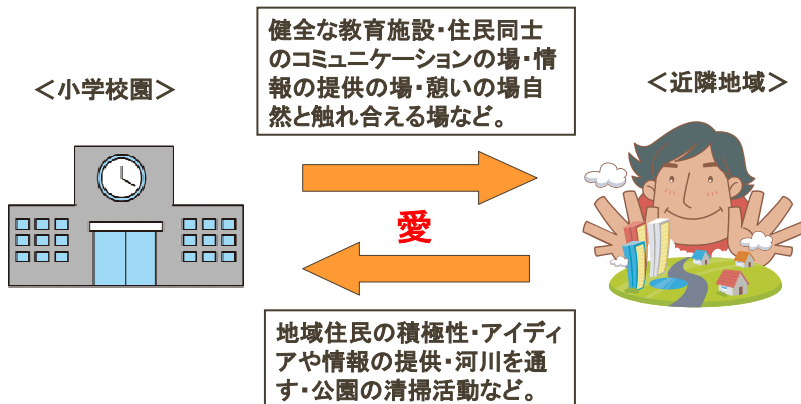
小学校園のメリット

2 ほかにこんなことができる？

- 人が集まる小学校園では運動会等の小学校の行事がまちに浸透し、まちの行事となりまちの活性化につながる。
- 持久走の行事だったら公園をコースにできるから、子供たちが安全に走ることができる。
- まちの季節の行事等の場所としてもつかえる。その際、公園側には出店を出すこともできる。
- 小学校園の設計等を地元企業に委託することでまちの景気がよくなったり、小学生や地域住民が感謝の気持ちで公園の掃除したりすることでもまちの活性化につながる。

小学校園のメリット

3 小学校園と近隣地域の関係



相乗効果！好循環！

小学校園のメリット

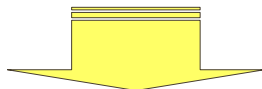
4 各地方ならではの小学校園へ

- その地方で有名な銅像やモニュメントを置く。
- 公園内の川をまたぐ小さい橋に地元特産の木材を使う。
- 小学校園の外壁のつくりを地元の有名なお寺のようなつくりにする。
- 公園にその地方ならではの植物や生き物を育てる。また、必要であればビニールハウスを設置する。 etc

地元を知ってもらい良い機会になり、まちの発展につながる！
と同時に、地元の小学校園に愛着が湧き、更なる
まちの活性化のために積極的になる！ **好循環！**

まとめ

小学校と公園と地域の相乗効果で、この小学校園が充実していき**まちのシンボル**的存在になれば、まちはそこから一体感のある愛があふれるまちへと広がっていく。更に、各地方に小学校園が浸透していけば、特色や名産を生かした**その地方ならではの小学校園**をつくることで、地元の良さを知ってもらえるし、自分のまちの小学校園に愛着が湧き更なる積極性が生まれる。また、観光地の一つにもなるので日本の活性化にもつながる。これらの愛によってもたらされる**好循環！**それこそが、**まちのヒート愛ランド現象**である！



小学校園を通して、まちが愛に包まれ一つになる！

これが、**未来を救う夢の楽園！**